

慶應義塾大学医療系三学部
「ラオス・プライマリヘルスケア保健医療チーム活動プロジェクト」
2019年度 募集要項

医学部・看護医療学部・薬学部が合同で実施している海外研修プログラムです。ラオス国をフィールドに、医療保健チームとしてプライマリヘルスケア活動に参加して、国際保健における「持続可能な支援」と「チーム・アプローチ」を体験的に学びます。

1. 目的

ラオス国をフィールドに JICA、WHO 等の保健医療支援活動や現地医療機関等の見学を行う他、教育や環境領域の NGO 活動にも触れ、包括的なプライマリヘルスケア支援活動の実際を学びます。また、農村では、住民とともに2日を過ごし、その生活や習慣・文化をとおして健康課題について考えるフィールドワークを行います。さらに、ラオス保健科学大学等の医療系学生と交流し、医療系人材の開発についても学びます。

これらの活動をとおして、ラオス国のヘルスケア領域の課題、ヘルスケア政策、人々の生活と文化への理解を深め、持続可能性のある国際援助の方策や、効果的な保健医療チーム・アプローチについて考察することを目的としています。

2. プログラムの履修・参加

1) 募集人数： 医学部・看護医療学部・薬学部 計21名程度

2) 応募資格：

■医学部：1年生～6年生

■看護医療学部：1年生～3年生

■薬学部：薬学科1年生～6年生、 薬科学科1年生～4年生

※講義およびラオス研修の全日程に出席できることが応募の条件です。

※「プライマリヘルスケアと国際保健Ⅱ(海外研修)」(秋学期2単位)の自由選択科目です。

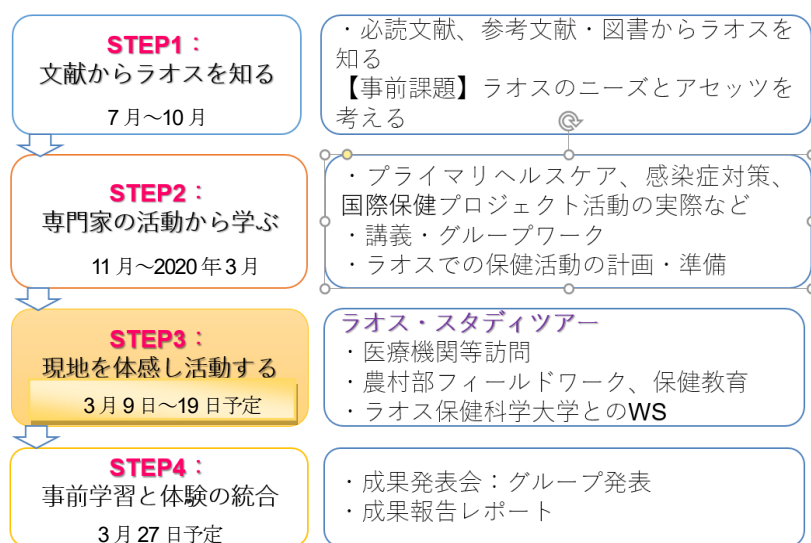
3. プログラム参加費

・約27万円。(事前講義等の諸経費、ラオスでの渡航・研修費等)

※この他に予防接種の料金が必要になります。ラオス人民民主共和国で、フィールドワークおよび実習を行うにあたり、熱帯感染症等の予防のため、三種(A型肝炎・破傷風・狂犬病)等の予防接種を受けることを義務づけています。

※総合医学教育奨励基金より、学習支援費として8万円が補助される予定です。

4. **プログラム内容**： プログラムは以下の4つのステップで構成されています。



STEP1：文献学習

- ・必読資料及び参考資料を読み、事前学習を行います。

STEP2：事前講義「ラオス・プライマリヘルスケア活動講座」(集中講義)：信濃町キャンパス開講

東京大学国際保健学教室、国立国際医療研究センター・国際医療協力局等の協力を得て開講し、国際医療活動に必要な諸理論とアセスメント等の手法ならびに、ラオスの保健医療の基礎を学びます。講義は、ディスカッションやグループワークを取り入れた参加型の形式です。

医学部・看護医療学部・薬学部の混合チーム（各7人・3チーム）をつくり、チーム毎にラオスでの諸活動の準備を行います。

- (1) 農村部でのフィールドワーク、県病院での臨床実習の準備として、フィールド調査法、バイタルサイン測定（脈拍・血圧・呼吸音等）、栄養アセスメントなどの演習を実施。
- (2) 小学校での保健教育実践計画の作成、保健教材づくり。
- (3) ラオス保健科学大学とのワークショップのディスカッションの準備

■講義日程：(土曜日集中講義：10時～17時) 以下の5日間を予定しています。

1) ラオス研修前講義（プライマリヘルスケア講座）日程（予定）

- 第1回：11月2日（土）
- 第2回：12月28日（土）
- 第3回：2020年2月1日（土）
- 第4回：2月29日（土）
- 第5回（報告会）：3月27日（金）または3月30日（月）

STEP3：ラオス・スタディツアー

- (1) ラオス研修期間：2019年 3月9日（月）～3月19日（木）（予定）
- (2) 研修地域：ビエンチャン（首都）、ルアンパバーン県など

(3) 現地研修内容

■現地での講義・ディスカッション

- ・ JICA ラオス事務所、WHO・UNICEF 等国際機関ラオス事務所において、持続可能性の開発目標への取り組みや達成状況、ヘルスケアの課題、各機関の活動に関する講義を受講します。

■医療機関等の見学・研修

- ・ JICA の青年海外協力隊の活動地訪問：プライマリケア、二次医療、三次医療の病院等の医療施設等での見学実習および、村の巡回保健指導等に同行し、コミュニティにおける住民参加型のヘルスケア活動を学びます。
- ・ 医療従事者養成プロジェクト、プライマリヘルスケアを基盤とした HIV/AIDS 等の感染症予防対策、母子保健支援などのプロジェクト活動等を見学します。
- ・ 教育や環境分野の NGO や、医療関連企業等を訪問し、活動の実際をうかがいます。

■医療系学生との交流

- ・ ラオス保健科学大学の学生との合同交流カンファレンス（英語）を実施します。

■農村部でのフィールドワーク

- ・ ラオスの農村にホームステイ（2泊）し、健康に関連したフィールドワークを行う他、小学校の児童を対象に保健教育を実施します。

STEP 4：研修の成果のまとめ

帰国後、研修の成果についてプレゼンテーション・まとめのディスカッションを行います。

- 1) 三学部・成果発表会：<2020年3月27日（金）または30日（月）午後（予定）>
- 2) 2019年度ラオス研修報告書（レポート）提出
- 3) 義塾内での発表：各オープンキャンパス、四谷祭、SFC Open Research Forum 等
- 4) 国内外の学会での発表：国際保健医療学会、日本保健医療福祉連携教育学会 等

5. プログラム参加申し込み

- 1) 参加募集期間： **2019年5月13日（月）～5月30日（木）** 事務室閉室時間 10 分前

①□参加申込み書

②□参加希望理由・「本プログラムに参加し学びたいこと」（A4横書き 1,200 字程度）

※参加動機、学びたいことを記述して下さい。形式は自由です。

- 2) 提出先：①②を**所属キャンパス事務室（学生課）**に各2部提出 **→医学部2年生以上は、信濃町キャンパス国際担当事務室(総合医科学研究棟1S4)に提出**
- 3) 参加者発表： **2019年7月1日(月)正午** 各キャンパス事務室（学生課）掲示板

